

## 令和5年度 第1回香美市まちづくり委員会【会議録要旨】

日 時： 令和5年8月31日(木)18時30分～19時45分

場 所： 香美市役所本庁舎3階会議室

出席者： まちづくり委員 14名

市長 副市長 定住推進課長他2名 事務局(企画財政課)4名

欠席者： 6名

### 【開会】

#### 【市長あいさつ】

市民と一緒にまちづくりをしていきたい。

市民のアイデアや行動力を市政に活かしていこうと、今年度から「香美市市民提案型市民主役事業」を始めた。市民の気持ちに市役所が応えられたかなど、様々な課題が出てきたが、まちづくり委員会から出た意見に対しても、しっかりと受けとめてやっていきたい。

### 【自己紹介】

#### 【会長、副会長の選任】

事務局案:会長-中村健委員、副会長-濱崎博志委員 で承認。

### 【議題1】香美市まちづくり委員会の経緯と今期のまちづくり委員会について(事務局説明)

#### 資料1:香美市まちづくり委員会の経緯について

- ・市の総合計画である「香美市振興計画」の将来都市像の実現に向けて、市民参加型の「まちづくり委員会」を設置した。
- ・「第1期まちづくり委員会」「第2期まちづくり委員会」までは、「香美市振興計画」の策定や検証の役割があり、「第3期まちづくり委員会」からは、「香美市協働のまちづくり条例」が策定されたことに伴い、その所掌事務が協働のまちづくりの推進に移行し、第4期まちづくり委員会にて、「香美市協働推進計画」が完成した。
- ・第5期は、策定した協働推進計画の進捗管理、提案型市民主役事業、自治会に関すること、その他市長が必要と認めることについての検討や意見提言が役割となる。

#### 資料2:香美市協働推進計画

- ・「少子高齢化 人口減少による様々な課題」「多様化する市民ニーズ」「地方分権の進展による地方自治体の自己決定、自己責任の拡大」といった現状の中、市民と行政の協働によって、誰もが幸せを感じられるまちづくりを目指していく。
- ・協働とは、まちづくりを推進するために、市民と市がそれぞれ果たすべき役割を自覚し、対等な立場で、相互に補完しながら共に行動することをいう。(香美市協働のまちづくり条例第2条第4号)

- ・すでに行われている協働事業が多くある。
- ・「協働」のまちづくりを進めていくうえでの現状と課題を、「情報の発信と共有」、「協働・参画に向けた環境整備」、「自治会」、「市民と市職員の意識」の4つに整理している。
- ・現状と課題に対応した、改善するための基本方針を4つ掲げており、その中でも基本方針3では、自治会運営、活動に対する支援としており、協働のまちづくりを進めていくうえでは、自治会が重要になってくると本計画では考えている。
- ・協働推進計画の進捗管理について、まちづくり委員会でも協議していく。

## 【議題2】香美市における自治会の状況(定住推進課より説明)

資料3：香美市における自治会の状況

### 1.組織数・会員数

自治会数	香美市 183	南国市 178	香南市 575 (班でカウント)	いの町 188
会員(世帯数)数	香美市 7452	南国市 不明	香南市 8916	いの町 8628
加入率(目安)	香美市 57%	南国市 不明	香南市 57%	いの町 83%

### 2.主な補助金など

- ① 広報の配布 1世帯あたり、920円～1220円の手数料を払っている。
- ② 自治会長に対し、1名につき年間2万円の謝金を交付
- ③ 地域活性化総合補助金 令和5年度予算額 22,841千円
- ④ その他 市道の草刈り

### 3.高知県全体での傾向(令和3年度 高知県集落調査から)

世話役、後継者の存在

「居る」 平成23年度 63.3% 令和3年度 48.6%

「今後維持出来ない」 平成23年度 26.8% 令和3年度 39.3%

香美市も同じ状況ではないかと思っている。

### (委員からの質問)

・草刈りの謝金について、自治会と市の契約に基づいて行っているのでは謝金とは言わないのではないか。

→ご指摘のとおり、請負契約になる。(訂正をお願いします。)

## 【議題3】香美市提案型市民主役事業についての状況(定住推進課より説明)

資料4：香美市市民提案型市民主役事業の状況

### 1.事業の経過

令和5年度当初予算市長査定で、市長の提案により、市民提案型の補助事業が総務費に予算額200万円で追加された。

令和5年5月1日に広報と市のホームページにて、テーマは「音楽」で事業を募集し、4

件の提案があった。7月3日に審査会を開催し、4件の提案のうち1件を選考し、10月に実施する予定となっている。

## 2. 募集事業の条件

市民が考え、主体となった様々な事業を応援するため、令和5年度は「音楽」というテーマ以外は、自由な発想と視点によって募集した。応募者は、拠点が市内の団体であることなど、一定の要件があり、宗教的・政治的活動を行う団体は除かれるなどとしている。

## 3. 選考されたイベントの概要

事業実施主体 香北町青年団

会場の予定 香北町美良布 アンパンマンミュージアム前広場

事業実施日(予定) 令和5年10月7日(土)

催しの内容など

野外コンサートと野外の映画上映会

野外コンサートには高知県出身のミュージシャン 矢野 絢子氏のほか、高知工科大学のJAZZ研究会などが出演予定

その他、会場周辺ではグルメ屋台やミニゲーム、昔あそびなどの体験ブースを用意し、幅広い年代が楽しめるイベントとなっている。

## (委員からの質問)

・この提案型事業は、100%補助か。

→補助率は100%です。4件の提案団体に対して、審査要件を設定して数値にて採点し、1から4番目までの順位をつけました。全団体が6割以上の合格点を取っていましたが、2番目の提案が200万と予算満額だったため、予算残があっても、1番目の団体のみを選考となった次第です。

・香北町に青年団があることに驚いている。昔は各地区にあった青年団は、今は、ほぼ崩壊状態で、山田にもないと思う。香美市で青年団が活動している地区は、香北町以外にもあるか。

→現時点で青年団活動として団体が組織されているのは香北町だけである。

## (市長より補足)

・香美市を「音楽のまち」にしたいという思いから、テーマを「音楽」とした。

・選考する団体を点数で決定した点や、審査員に音楽性を持った人がいない点等についてご意見をいただき、検討課題と考えている。

・2割負担でイベントを行う団体への補助は既にあるが(地域活性化総合補助金)、100%補助とした理由は、「2割の負担」が難しい団体も対象としたかったためである。

・イベントによる利益が出た場合にどうするかも課題である。

・福井県鯖江市では、行政が行っていた事業を住民が行う形での募集のため、100%の補助となっている。

・何をもって公平とするのか、どういった形であれば提案しやすいかなど、まちづくり委員会のワークショップでも検討していただきたい。

#### 【議題4】今後の予定(事務局より説明)

1年度に2~3回程度、委員会を開催する。

今回は11月か12月頃に、定住推進課から説明のあった自治会問題と、提案型市民民主役事業について、委員を2つの班に分けてグループワークを行う。(グループ分けのアンケートへの回答を依頼。)

第3回目は、2月か3月頃に、協働推進計画の進捗状況についての会を開催予定。

#### (委員からの質問)

・次回の委員会の時期は地域のイベント等で忙しいため、11月上旬までに開催して欲しい。また、遠方からの行き来が18時半開始だと遅くなるので、開始時間を18時からにしてもらいたい。(仕事をされている方は難しいかもしれないため、あくまで「お願い」である。)→検討する。また、開始時間などについて他にご意見がある方はグループワークの班分けアンケート余白に記入していただきたい。

#### (ここまでの全てについて委員からの質問など)

・提案型市民民主役事業のイベントで、やなせたかし先生の「香北讃歌」を盛り込んでもらいたい。

→事業実施主体が香美市役所ではないので、担当者に意見があったことを伝える。

#### 自治会について

・会員数を増やすことも大事かもしれないが、スムーズな世代交代ができて、「動ける」人の数を増やすことも大切ではないだろうか。10年程前に自分が自治会に加入して以来、若い世代で新たに自治会に入った人が近所にはいない。2世帯で住んでいる人はいるが、親世帯は自治会に入るが子供世帯は入らなかったり、親世帯とまとめて、数としては加入していても活動に参加していなかったりという実態がある。スムーズな世代交代ができれば、マンパワーも確保できると思うが、皆さんがどうされているか教えていただきたい。

・香美市は最近若い転入世帯も多く、私が班長をしているときは、広報やゴミの出し方の冊子などを1セットにして訪問し、話しをすれば、多くの方が分かってくれた。だから、啓発活動は大切だと考える。若い方が転入しているチャンスを逃してはいけない。市も、自治会に頼るだけでなく、そういう手助けをしてもらえたらと思う。

・世代交代の問題は自治会だけではない。民生委員や地区の公民館長・公民館運営委員など、

ありとあらゆる役割や、ボランティア的な役職の世代交代は、ほとんど進んでいないのが現状だ。なかなか難しい問題で、難しいからと何もしないわけにはいかないが、結局、60歳ぐらいまでの方は、基本的に仕事に追われて、生活に追われて余裕がない。

健康寿命が75歳なので、60歳又は65歳で退職された人に声をかけ、そこで世代交代するのが現実的ではないだろうか。退職して3~4年間何もしないと、外出などが億劫になるので、退職直後に声掛けをしてはどうだろうか。

・うちもかなり世帯数が少なくなっている地域だが、親と少し離れた場所に住んでいる子供が、親とまとめて1家族として自治会に加入はしているが、実際は親世代1人しか参加していないという例がある。「割」が少ない方が加入しやすいので、1家族として会費を1軒分にするにはメリットもあると思うが、それで活動に参加しないのでは、加入していないのと同じなので、地区としては成り立たなくなってしまう。自治会が何をやっているか、もっと理解してもらうことをやらなければならないが、地域によって、自治会単位の大きさや、状況に違いがあるので、その地域の課題に対して何か大きくアピールしていかなければ、世代交代は難しいと思う。

・資料1、P2第5期まちづくり委員会の役割で「(3)その他市長が必要と認めることについての検討・意見提言」というのは、さっき市長が言われたような、「提案型市民役事業」についての意見とか、そういうことを指しているのか。

→今回のまちづくり委員会の役割についてはP2に掲げている通りで、(3)については、「まちづくり委員会設置条例」第2条の所掌事務に、「その他市長が必要と認めること」と書かれていることに基づいている。資料1 P2の「(1)協働推進計画の進捗管理」「(2)市民提案型事業、自治会の活性化等に関する事」以外で、まちづくりにかかる案件があれば検討いただくという意味である。

・第5期の役割に、「協働推進計画の進捗状況についての協議」とあるが、これはだいたい、どの時期にやる予定か。

→第3回目の委員会で行う。各課に今年度の状況を照会した後となるので、まちづくり委員会での協議は、は2月か3月頃を考えている。

## 【閉会】

※次回は、自治会と香美市提案型市民役事業についてのグループワークを行う。